

第2章 区基本計画の策定 背景・現状と課題

1 区基本計画の策定背景

今後5年間にわたり上京区のまちづくりを進めていくうえで、指針となる区基本計画の策定に当たり、まちづくりの基礎となる人口について、3つの視点から分析します。

(1) 定住人口

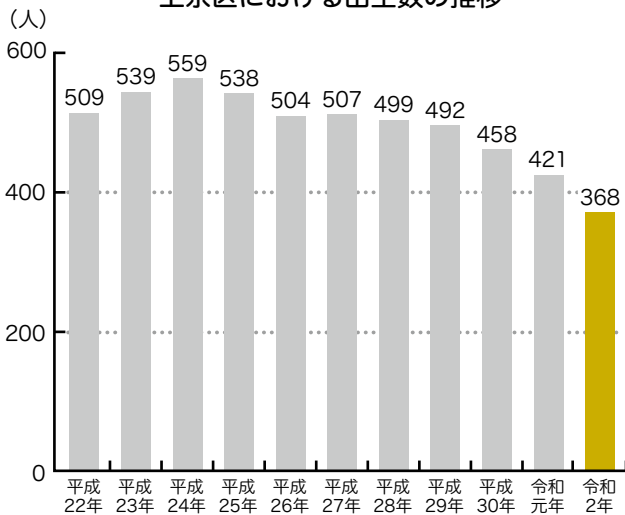
様々な人たちによって
上京のまちづくりが
支えられています。



上京区の人口は、前区基本計画策定時8万3264人から、令和2年推計値で8万4970人となっており、共同住宅の増加等※を背景に、人口減少に一定の歯止めがかかっています。しかしながら、全国的に少子化が進行する中で、上京区の人口を今後も維持・増加させるのは、大変難しい状況にあります。

※平成25年の同志社大学今出川キャンパスへの学部統合移転による人口増要因を含む。

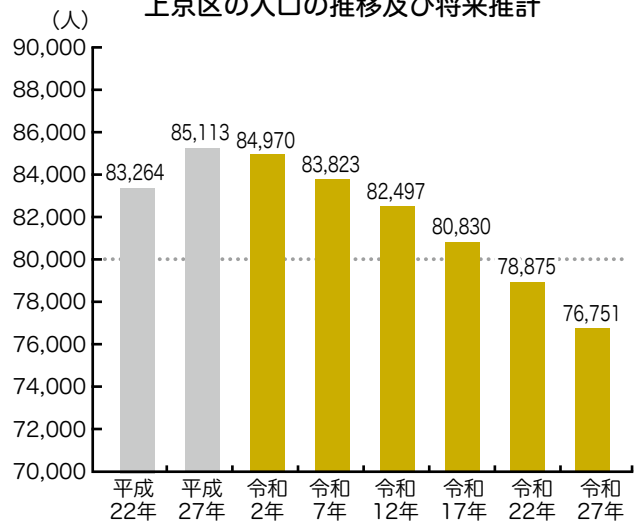
上京区における出生数の推移



※数値は住民基本台帳による。(前年10月～当該年9月)

資料:京都市推計人口

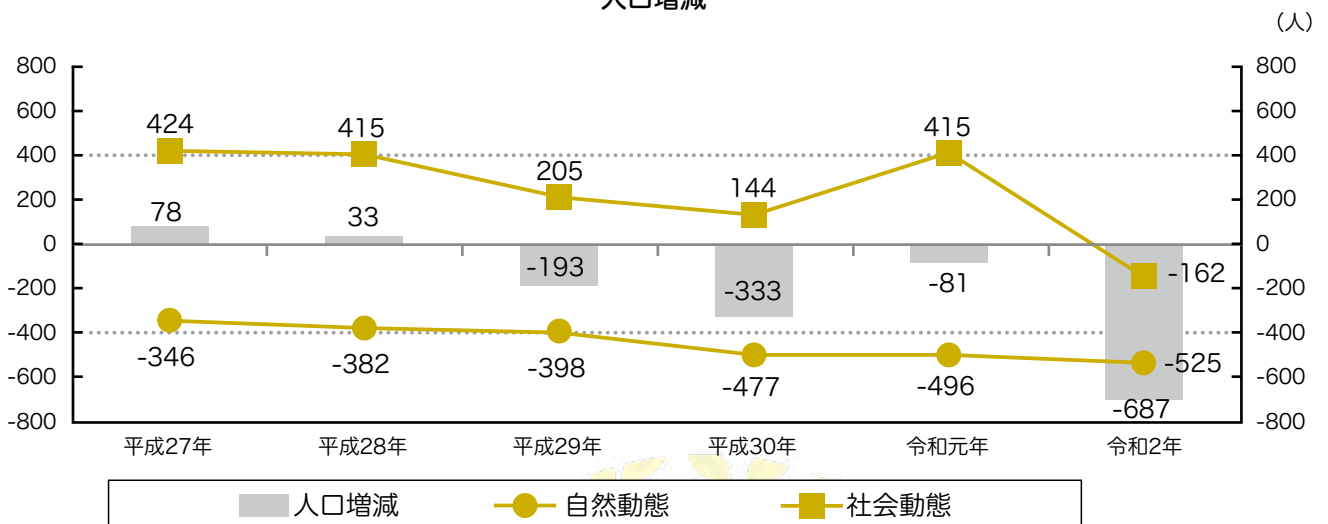
上京区の人口の推移及び将来推計



資料:平成22年～平成27年は国勢調査

令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月公表)」に基づく推計値

人口増減



※数値は京都市推計人口統計調査による住民基本台帳の異動数。(前年10月～当該年9月)

資料:京都市推計人口

(2) 交流人口

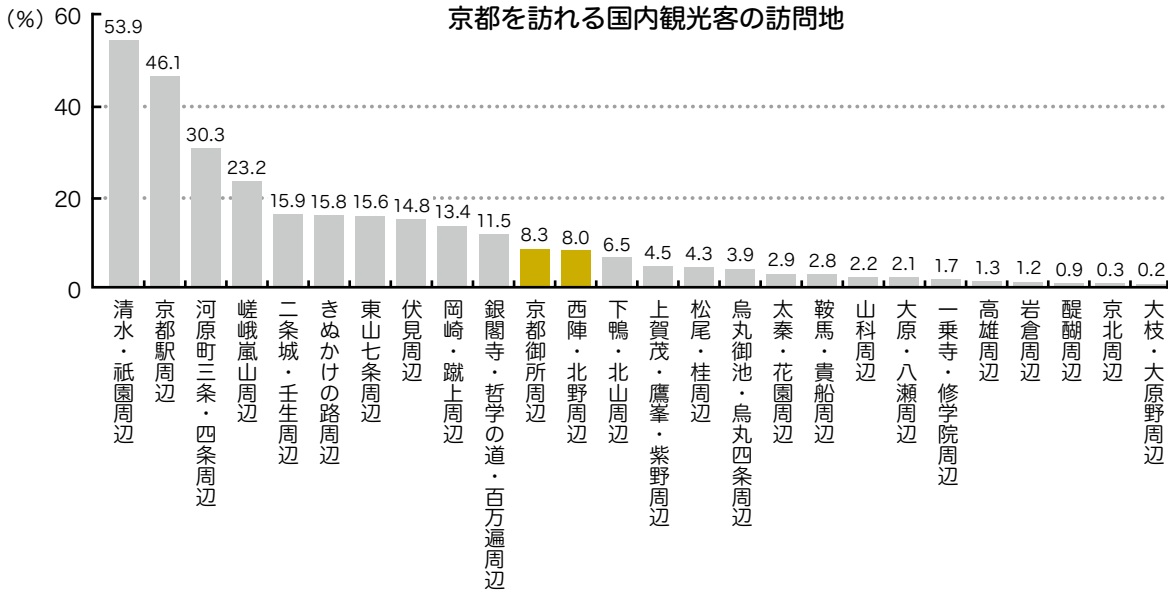
上京区外からの観光客や通勤・通学者等の交流人口の増加は、地域の活性化にとって重要です。

しかしながら、上京区は、京都市内でも屈指の観光資源を有しているわりに、比較的観光客が少なく、また、同志社大学をはじめとする大学生世代は多いものの、区外からの通勤者も減少傾向にあります。

このため、観光客の来訪によるいわゆる観光公害を発生させないよう留意し、市民生活との調和を最大限重視しつつ、市民の豊かさにつながる観光の実施や、産業の振興を図るうえでも、交流人口の増加が求められます。

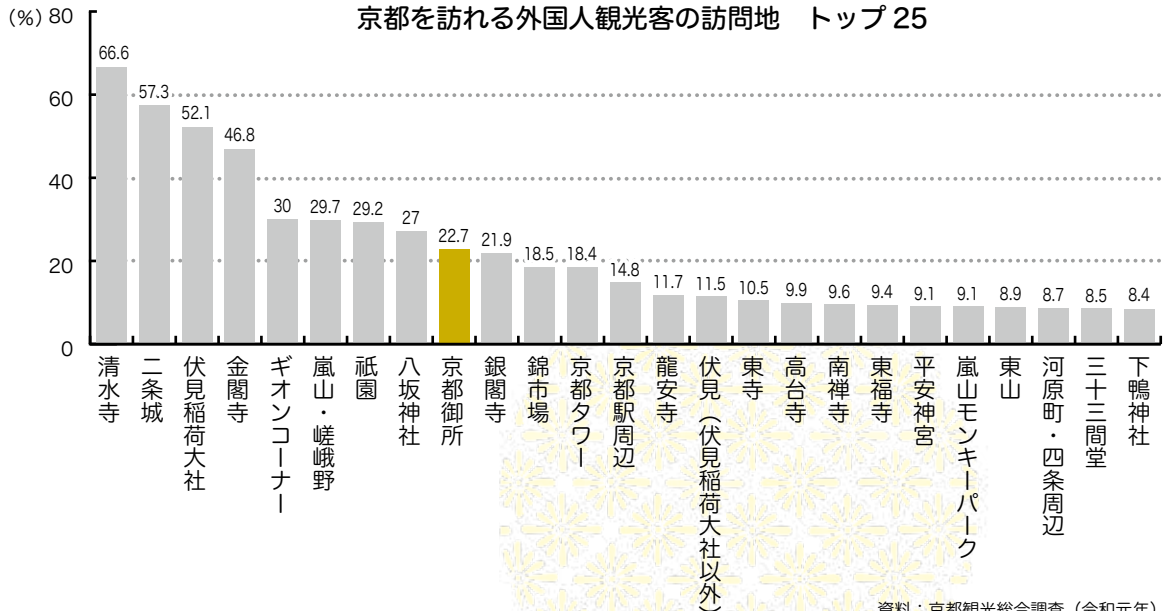


京都を訪れる国内観光客の訪問地



資料：京都観光総合調査（令和元年）

京都を訪れる外国人観光客の訪問地 トップ25



資料：京都観光総合調査（令和元年）

(3) 関係人口



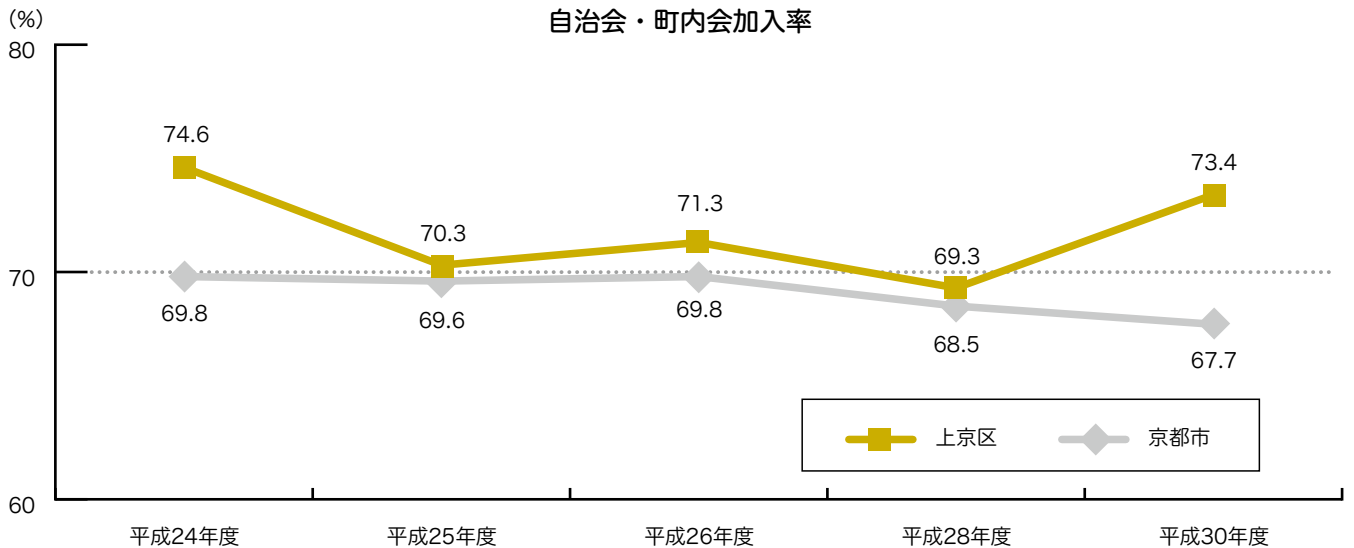
上京区の誇る地域力の源泉は、多くの区民が地域活動の担い手となり、また、地域行事に参加し、そうしたつながりの中で、互いに助け合い、支え合うといった、いわば関係人口が多いことにあります。

しかしながら、近年、全国的な傾向として、近隣関係が希薄化し、地域の担い手不足が大きな課題となってきました。

こうした中、コロナ禍にあつて、以前よりも近所での声掛けが増えているといった状況も見られるなど、地域とのつながりの大切さを再認識する兆しも見られます。

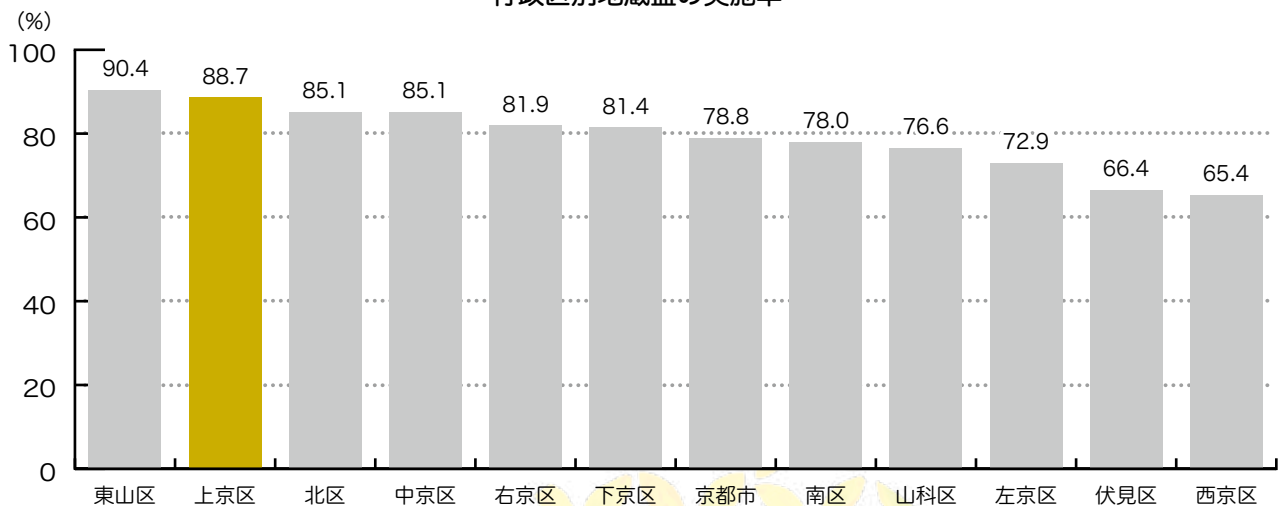
今後、定住人口が減少しても、関係人口を増加させることによって、地域力を維持・向上させることが可能であるとも言えます。

自治会・町内会加入率



資料：京都市自治会・町内会アンケート報告書（各年）

行政区別地蔵盆の実施率



資料：西陣を中心とした地域活性化ビジョン（平成25年調査）

2 現状と課題を4つの切り口から分析

区基本計画を策定するに当たって、以下のよう
に現状と課題を4つの切り口でまとめました。

「ライフスタイル」「安心安全」
「まちの活力」
「はぐみ・継承」
の4つの切り口から
課題を明らかにします。



(1) ライフスタイル

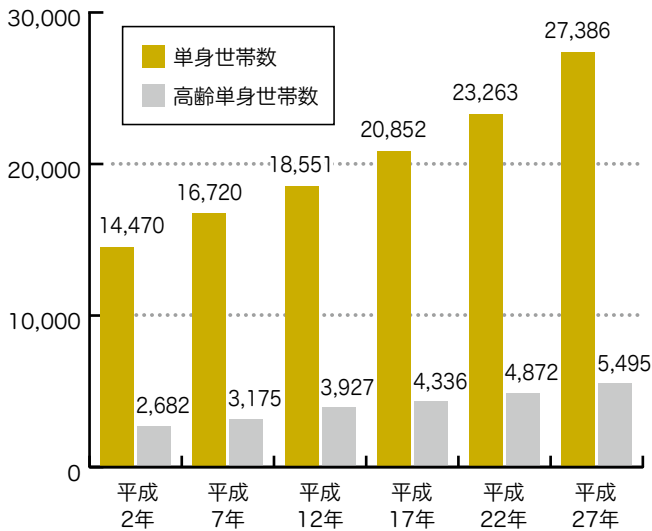
上京区では、学区や町内会単位で、地域の自治、福祉、防災といった様々な取組が実施されています。こうした地域ならではの歴史や文化を継承しながら、世代や価値観を超えた交流を育んできた地域コミュニティは、まちづくりにおける重要な役割を果たしています。

しかしながら、近年、地域コミュニティは、少子化や単身・共働き世帯、外国籍市民の増加などにより、担い手の不足をはじめとする様々な課題や変化に直面しています。

また、外国人居住者数も、平成25年と比較して約3割増加しています。

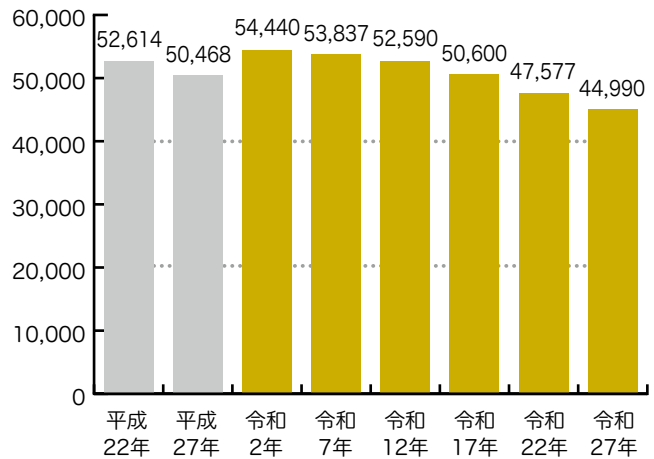
こうした中で、これまで営まれてきた地域の支え合いや、歴史、伝統文化、自然との関わり方といった地域における普遍的な価値を将来にわたって失うことがないように、こうした課題への取組の充実が求められています。

上京区の単身世帯数の推移



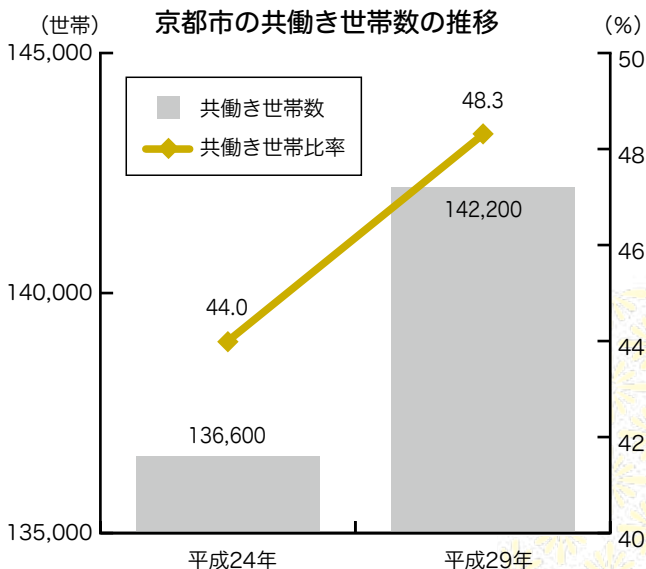
資料：国勢調査（各年）

上京区の生産年齢人口の推移及び将来推計



資料：平成22年～平成27年は国勢調査
令和2年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月公表）」に基づく推計値

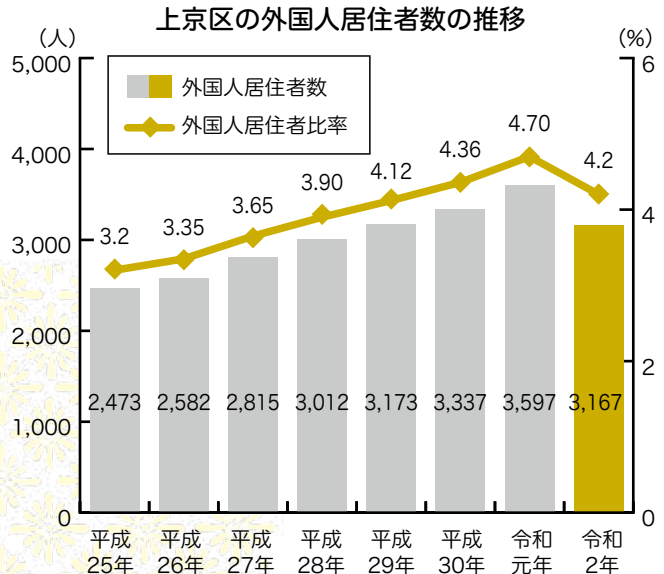
京都市の共働き世帯数の推移



※「共働き世帯」は夫婦のいる世帯のうち、夫婦ともに有業者の世帯。

資料：就業構造基本調査

上京区の外国人居住者数の推移



資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

(2) 安心安全



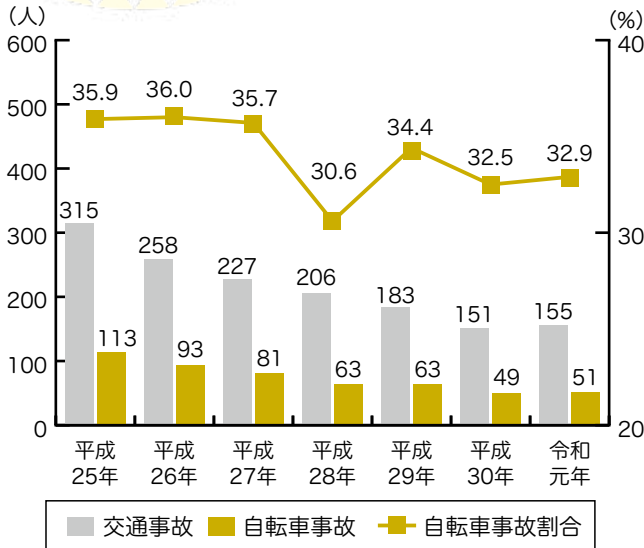
空き家の増加は、まちの活力低下、地域の防災や防犯、生活環境、景観などに悪影響を生じさせることから、所有者個人を超えた地域全体の課題となってきました。

他方で、刑法犯認知件数の中でも、自転車盗の比率や、自転車・高齢者に関わる交通事故の割合が高いことや、全国共通の指標に基づき、区内17学区のうち7学区が木造密集市街地に指定されており、地震や火災の発生によって甚大な被害を受けやすい都市構造であるといった課題もあります。そして、区内には、約10・7%の空き家が存在(平成30年住宅・土地統計調査)し、将来的な人口の減少や高齢化の進展に伴い、更なる空き家の増加が見込まれます。

また、刑法犯認知件数や交通事故の減少傾向、火災発生件数が低位に推移、人口当たりの刑法犯認知件数が、11行政区中、低い方から第4番目(629件(令和元年))といったデータからも、体感治安が非常に高いまちです。

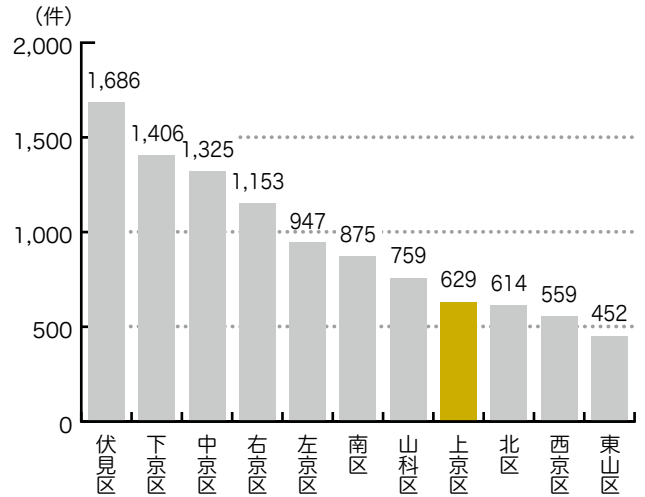
上京区では、平成28年12月に、区民約500人から回答を得たアンケート調査で、88・5%の区民が「総じて上京区は安心して暮らせるまち」と回答しています。

上京区の交通事故・自転車事故の発生状況の推移

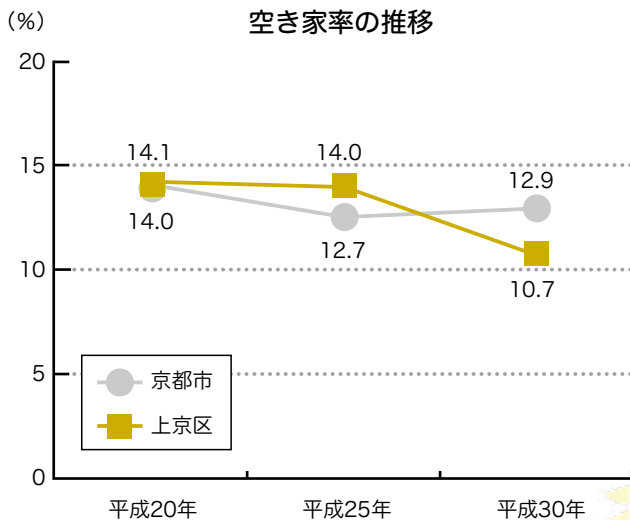


資料：上京警察署

刑法犯罪発生認知件数 (令和元年)

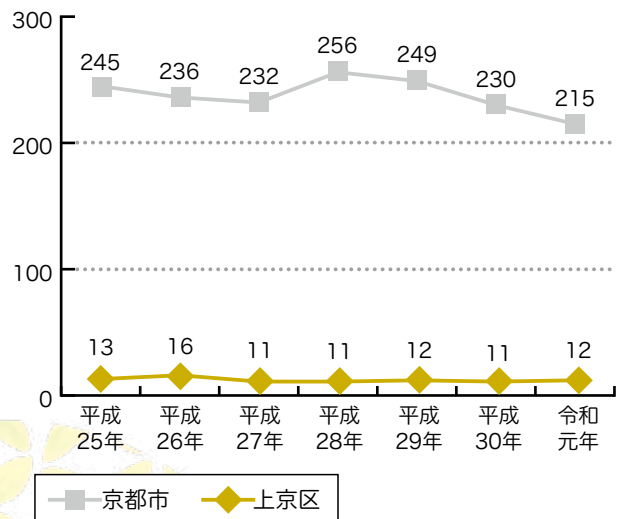


空き家率の推移



資料：住宅・土地統計調査

火災発生件数の推移



資料：京都市統計書

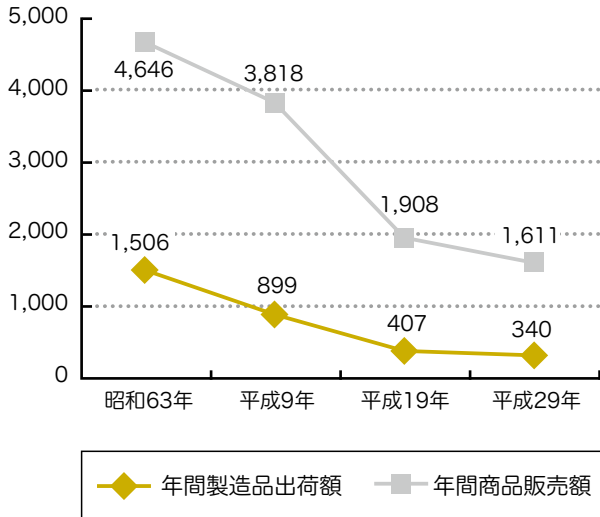
(3) まちの活力

地域の主要産業である西陣織の出荷額は、24年間で約9割減少（2795億円（平成2年）↓334億円（平成26年））しています。それに伴い、職住近接の暮らし（13.3%（平成2年）↓3.6%（平成27年））、歴史ある京町家（9807件（平成20年）↓8521件（平成28年））の減少や、商店街の衰退といった悪循環に陥っています。

地域活性化の観点からも、歴史や文化をはじめとした区内の有形無形の資源を活用した地域の潤い創出や、西陣をはじめとする地域のブランド力発信、スタートアップ（起業家）支援等を通じて、にぎわいのあるまちづくりに取り組む必要があります。

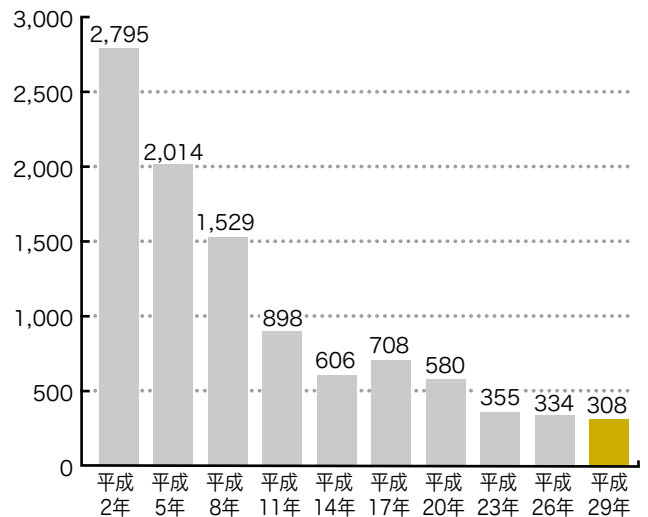


（億円） 上京区の年間製造品出荷額・商品販売額



資料：工業統計調査、商業統計

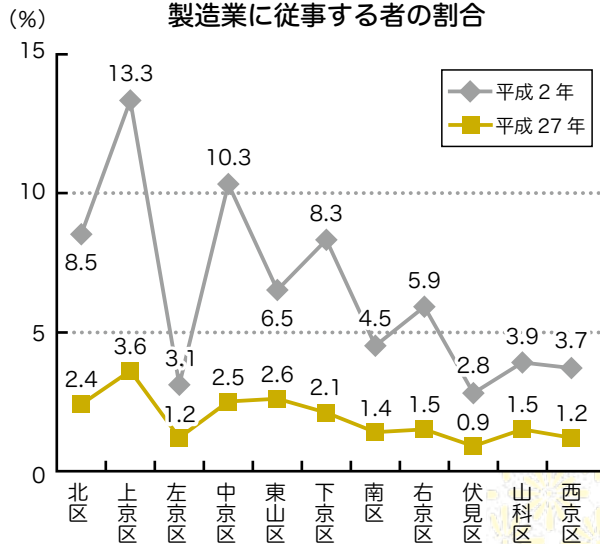
（億円） 西陣織出荷金額の推移



※数値は「西陣機業調査」による。

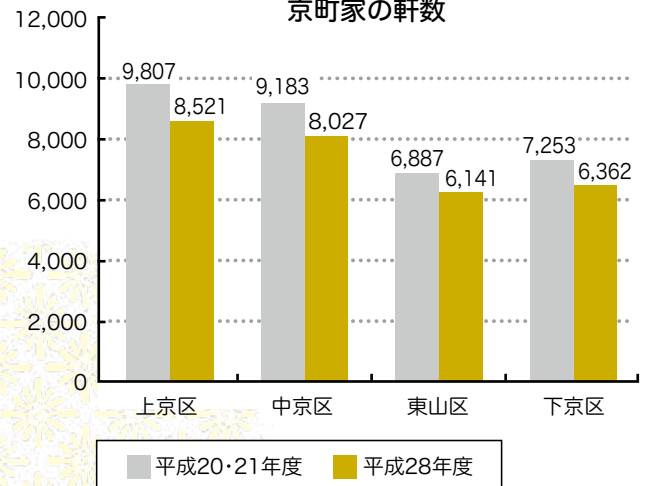
資料：西陣生産概況（令和元年）

区内常住従業者のうち自宅で製造業に従事する者の割合



資料：国勢調査

京町家の軒数



※数値は平成20・21年度「京町家まちづくり調査」、平成28年度「京町家基礎調査に係るボランティア調査」による。

資料：京町家まちづくり調査

(4) はぐくみ・継承

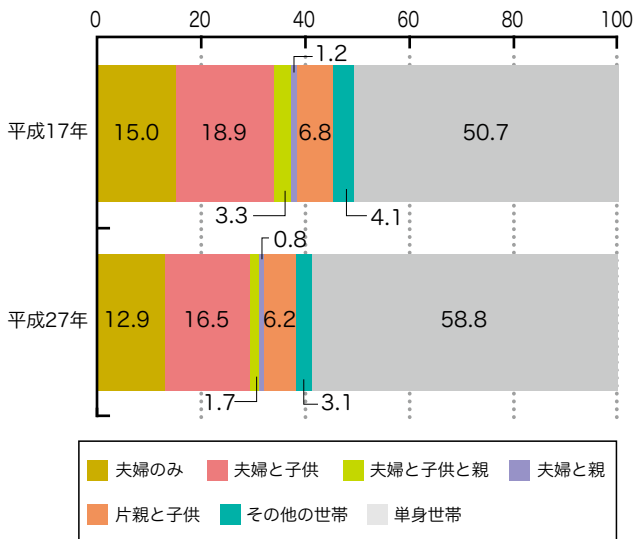


上京区における年間出生数は減少(539名(平成22年) ↓ 372名(令和2年)) する中、価値観やライフスタイルの多様化によって、地域でのつながりの希薄化が進んでおり、子どもや若者を取り巻く環境の更なる充実が求められています。

また、高齢人口の増加に伴い、高齢化率も上昇していることから、健康寿命の延伸につながる取組も必要です。

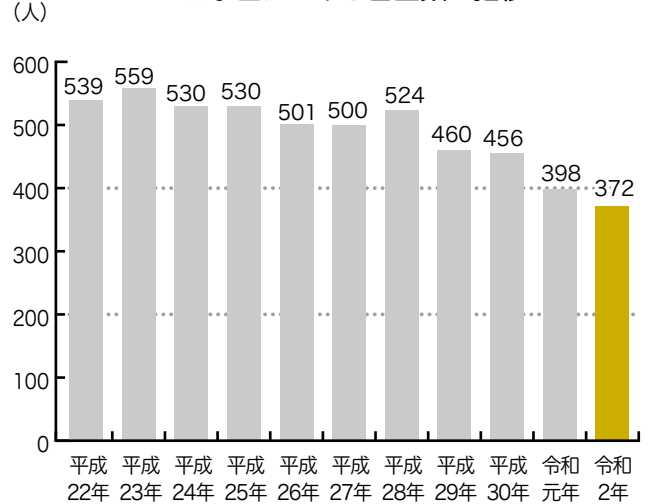
さらに、いわゆる8050問題や、それに付随する「ひきこもり」の問題を抱える家庭、一人親世帯をはじめとする子育て世帯が、地域や日常生活の中で「つながりの貧困」に陥らないような支え合いの取組も重要となっています。

上京区の世帯の種類 (%)



資料: 国勢調査

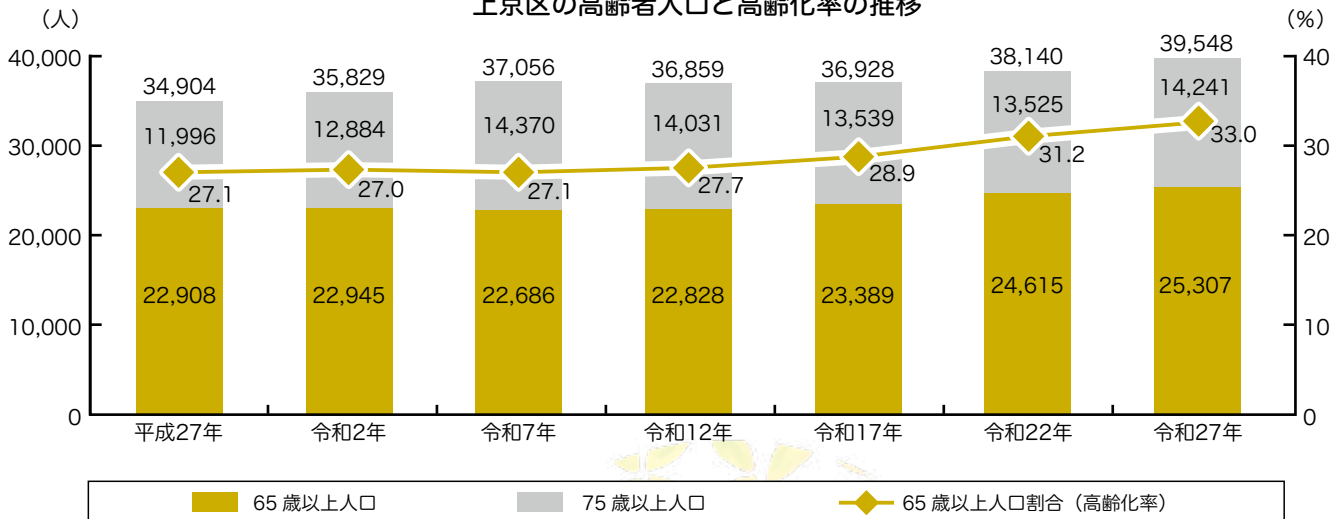
上京区における出生数の推移 (人)



※数値は住民基本台帳による。(暦年計(1月~12月))

資料: 京都市推計人口

上京区の高齢者人口と高齢化率の推移



※平成27年の国勢調査結果をもとに推計している。

資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月公表)」に基づく推計値

～ 上京区の未来への様々な御意見をいただきました ～

皆様から
寄せられたお声を
一部御紹介します!



区基本計画の策定に当たっては、上京区民会議をはじめ、小学生から大人まで、多くの方々とのワークショップ等を通じて、上京の未来のまちづくりの基となる様々な御意見・アイデアをいただきました。

ワークショップ等でいただいたアイデア等の一部は、区基本計画に盛り込み、区民の皆様との協働により具体化していきたいと考えています。

小学生の声



- 地元の商店街PRのためのポスターを作りたい。
- 近くにあるお寺や神社をもっとPRしたい。
- 買い物に便利なショッピングモールがほしい。
- 子どもから大人まで全員が楽しめる施設がほしい。

中学生の声



- 道路に街灯を設置して、夜の道を明るくしてほしい。
- 公園やスポーツ施設を増やしてほしい。
- 地域のお祭りや運動会を続けてほしい。
- 道の通り名がわかる看板を増やしてほしい。
- 上京のまちに緑が増えるといい。
- 大学生とイベントをやりたい。
- まちをきれいにする活動があれば参加したい。

大学生の声



- 着物を着る機会があるといい。
- 昔からの住民と新たな住民の交流が必要だと思う。
- 自転車の駐輪場を増やしてほしい。
- 上京の魅力を知らない人が多いのもっと発信してはどうか。

次のページからは、皆様からいただいた数多くの御意見等を踏まえて策定した今後5年間の取組を掲載しています。一緒に見ていきましょう!

地域企業の声



- 若者、高齢者、障害者等がともに暮らせるまちづくりを。
- 二条城より北への観光客の誘導を考える必要がある。
- 地域とマンション住民のつながりづくりが必要。
- 地域のお店で買い物をしていただくことで、地域のお金を地域で回す取組につなげる必要がある。
- 地域の中小企業は地域の雇用、活性化を担っている。
- 地域住民の視点からもまちづくりに関わっていききたい。

